

建築学演習(Architectural Project Practice)

担当教員名	大久保 武志、水島 あかね	
学科・専攻, 科目詳細	建築学科 5年 前期 4単位 学修単位 演習	
学科のカリキュラム表	専門科目 選択科目	
共生システム工学の科目構成表	専門工学科目 演習系	
学習・教育目標	共生システム工学	F-1(70%) H-1(30%)
	JABEE基準1(1)	(d) (e)
科目の概要	これまで学んできたことを活かして木造住宅の設計を行う。 また、二級建築士の受験に必要な知識・製図法を習得する。	
テキスト(参考文献)	テキスト：安藤直見ほか『建築のしくみ』丸善、藤木庸介編『名作住宅で学ぶ建築製図』学芸出版社 参考文献：日本建築学会編『コンパクト建築設計資料集成』丸善	
履修上の注意	本科目は授業で保証する学習時間と課題作成に必要な標準的自己学習の総計が180時間に相当する学習内容である。履修にあたっては、下記のことを心がけること。1) 在来木造工法に興味関心を持つこと、2) 計画的に作業を進め提出期限を厳守すること、3) 共同で作業することの意味を考え、積極的にコミュニケーションを取りながら課題を進めること	
科目の達成目標	(1)在来木造工法の構造を理解すること (2)在来木造工法に関する基本的な建築法規等を理解すること (3)在来木造工法の図面が描けるようになること	
自己学習	目標を達成するためには、授業以外に次の自己学習が必要である。 ・各種図面の描き方（線の種類と用途・記号等）を復習すること ・在来木造工法に関する雑誌や書籍などを読み、理解を深めること	
目標達成度(成績)の評価方法と基準	合格の対象としない欠席条件(割合)	1/5以上の欠課
	達成目標(1)(3):作成した図面や模型により評価する(80%) 達成目標(2): 振り返りシートや相互評価シートの内容やレポートにより評価する(20%) 課題内容: ・軸組模型の制作(振り返りシート) ・トレース図面の作製 ・見学レポート ・在来木造住宅の設計(相互評価シート) ※全ての課題を提出することを原則とする。 上記全てを総合し、60%以上の評価点を合格とする。	
連絡先	onihatsu@gmail.com , akane@akashi.ac.jp	

授業の計画・内容	
第1週	オリエンテーション・グループ分け 授業の進め方・関連法規の説明など
第2週	木造軸組み模型の作成1 グループに分かれて軸組み模型を作成する
第3週	木造軸組み模型の作成2 グループに分かれて軸組み模型を作成する
第4週	木造軸組み模型の作成3 グループに分かれて軸組み模型を作成する
第5週	平面図の練習 平面図のトレースをおこなう
第6週	立面図・断面図の練習 立面図・断面図のトレースをおこなう
第7週	矩計図の練習 矩計図のトレースをおこなう
第8週	伏図の練習 伏図のトレースをおこなう
第9週	見学会 関連施設の見学をおこなう
第10週	木造住宅の設計(1) 課題1：説明とエスキス作業
第11週	木造住宅の設計(2) 課題2：説明とエスキス作業
第12週	木造住宅の設計(3) 課題3：説明とエスキス作業
第13週	木造住宅の設計(4) 課題3：図面作成
第14週	木造住宅の設計(4) 課題3：図面作成
第15週	木造住宅の設計(4) 課題3：図面作成
期末試験実施せず	